



デジタル社会の実現に向けた取組の一層の推進

- ▶ 新たな価値創造や地域課題の解決に向けたDXの取組を通じ、人が人らしく生活し続けられるデジタル社会を実現し、「未来へと幸せが続く滋賀」をつくっていく

【提案・要望先】総務省、デジタル庁

1. 提案・要望内容

システム標準化・共通化に対する継続的な財政支援

- 標準化対象事務に関するガバメントクラウドやその接続ネットワークの利用料等、システムの運用経費について地方の負担増とならないような配慮
- 既存システムの整理、影響を受けるシステムの改修に対する補助金の交付対象の拡大
- 移行困難システムをはじめ、各自治体の状況に応じた移行完了までの積極的な支援

2. 提案・要望の理由

システム標準化・共通化に対する継続的な財政支援

- システムの運用経費について、県内市町のほとんどが既に複数自治体での共同利用やクラウド化により経費の削減に取り組んできたところであるが、標準化移行後のガバメントクラウドやネットワークの利用料、システムの運用経費が現行の2倍以上になることが見込まれるため、新たな財政支援の創設やガバメントクラウド等の特別料金など、これらの自治体への特別な措置が必要。
- 標準化移行経費については、補助基準上限額の大幅な見直しをされたところであるが、システム移行にあたっては、基幹業務システムの変更により影響を受ける全てのシステムの改修等の費用が必要になることから、補助金の交付対象の拡大や要件緩和が必要。
- 住民生活に影響を与えることなく移行業務が円滑かつ安全に実施されるよう各自治体および各システムの状況を十分に把握した上で移行期限の緩和や事業者への働きかけ等の積極的な支援が必要。

(本県の取組状況と課題)

システム標準化・共通化に対する継続的な財政支援

本県では、「滋賀県DX推進戦略」(令和4年3月策定)に基づき、地域や産業の持続的な発展と、県民の暮らしをより豊かにするための新たな価値創造を、「暮らし」、「産業」、「行政」の各分野のDXにより実現できるよう、デジタル社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進している。

○県内のシステム共同利用の状況

③「長浜市及び東近江市情報システム共同
利用協議会」(H30.10)
長浜市、東近江市

④「彦根市および高島市基幹業務系
クラウドサービス共同利用業務」(R4.8)
彦根市、高島市

⑤(単独クラウド)大津市(中核市)

大津市・6町クラウド
については、移行困難
システムとして報告済

①「滋賀県6町行政情報シ
ステムクラウド共同利用
事業推進協議会」
(H27.10)

日野町、竜王町、
愛荘町、豊郷町、
甲良町、多賀町

②「おうみ自治体クラウド協議会」(H27.10)
近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、
野洲市、湖南市、米原市、甲賀市

担当：総合企画部DX推進課
地域DX連携推進室
TEL 077-528-3382

